日本に来たきっかけと将来の夢

ルーコマン・ヤスミ・ペラダルシニ

子供の頃、日本のアニメをよく見ました。　たとえば「ドラえもん」、「ちびまる子ちゃん」、「ドラゴンボール」など。　　その中で「ドラえもん」が一番好きです。そこから日本へ行きたいという気持ちがすごくありました。しかもインドネシアでは日本の製品がたくさん使われています。日本の文化や素晴らしい技術に興味を持ちました。

インドネシアで３年間、看護大学で勉強しました。　２０１０年に卒業しました。大学で福祉の勉強をし、今度は私のほうからたくさんお年寄りを助けられるようになりたいと思って介護士さんを目指すことに決めました。

２０１１年７月に介護福祉士の資格取得を目指して来日。２０１２年１月、ロイヤルあかしという施設で研修生として働き始めました。　食事や排泄、入浴介助など介護が必要なお年寄りの日常生活を継続的にサポートするのが主な仕事です。

最初現場に来た時すごく苦労でした。　仕事はまだ慣れないし利用者さんや同僚とコミュニケーションがうまく取れないし、しかも専門の知識もたくさん分からなくて本当に困りました。　仕事は大変ですが利用者の笑顔を見ることにすごくやりがいを感じています。　今はまだたくさん学びこともありますが、精一杯笑顔で頑張っています。

仕事の中で利用者さんに話しかける時、昔のことを聞かせて頂いて面白いです。
それはコミュニケーションとるだけではなくて、仲良くできるようになりました。
レクリエーションに参加すると徐々に日本の文化が分かって来ますので、少しですが勉強になると思います。利用者さんと仲良くするだけではなく、もちろん職場の友達の人間関係が必要です。仕事はばたばたしていますが人間関係が良いので順調で快適な環境ができるようになります。

仕事しながら勉強するものも大変です。忙しくてなかなか勉強時間の調整をするのが難しいです。どうしても国家試験に受かりたいので、夜勤もこなししながら勉強を

続けました。介護福祉士資格の国家試験を受験するには３年間という実務経験が必要です。　ようやく今年は３年目になりました。というわけで国家試験を受けました。今年１月に行われた試験に、皆様のお陰で無事に合格出来ました。涙が出るほどうれしいです。ありがとうとしか言えないです。神様に感謝いたします。

日本に来て良かったことは日本の文化に直接触れることができたことです。　３月８日（日曜日）に「着物とお茶の体験交流会」に参加させていただいて、本当に良かったと思います。いい勉強になって、しかも新しい友達もできました。

母国で介護施設を運営するのが夢です。　そのために日本でもっと働きたいと意気込んでいます。これからもっともっと頑張っていきたいと思います。